

研究に関する情報公開

社会医療法人柏葉会 札幌柏葉会病院では、札幌柏葉会病院倫理委員会の承認を得て、下記の看護研究を実施します。

1. 研究課題名

Smart ER 開設および手術室看護師による救急応需体制前後の変化～Door-to-Puncture time の比較検討～

2. 研究の目的

当院は脳神経外科診療を中心とする急性期病院であり、2024年12月の新築移転に伴い、救急初療室と画像診断室、血管造影室を集約した「Smart Emergency Room (以下 Smart ER)」を開設いたしました。また、移転後は手術室看護師による救急応需体制を導入しております。本研究は、この新しい救急応需体制が、急性期脳梗塞治療の迅速性を評価する重要指標である「Door-to-Puncture time (来院から穿刺までの時間、以下 D2P)」などの指標が短縮に寄与しているかを客観的に検証することを目的としています。本研究の成果は、より迅速で質の高い救急医療体制を構築するための基礎資料として、社会に貢献する意義を有します。

3. 研究の方法

・対象となる患者さん

2023年5月から2026年2月までの期間に当院にて急性期脳梗塞に対し血栓回収療法を施行された患者様。(ただし、院内発症および他の施設からの転院搬送症例は除きます。)

・研究に用いる情報の種類

診療カルテより、年齢・性別・意識レベル・閉塞部位・t-PA投与の有無、および来院・検査・穿刺に至る各工程の時刻情報等を収集し、統計的な解析を行います。

・研究期間

実施許可日～2026年7月

4. 個人情報の取り扱い

本研究で利用する情報や記録からは、氏名や住所などの個人情報を特定できる情報は削除し、符号化した上で厳重に管理いたします。研究成果を学会や論文、院内発表等で公表する際にも、患者様個人が特定されることは一切ございません。収集したデータはパスワード設定された電子媒体および施錠可能なロッカーで厳重に保管し、研究終了後には適切に廃棄いたします。

5. 本研究に関する費用負担について

2023年5月から2026年2月までの期間に当院で血栓回収療法を行った方の診療データを

収集致しますので、新たな費用がかかることはありません。

6.本研究に際し診療データの供給をご希望されない場合について

2023年5月から2026年2月までの期間に当院で血栓回収療法を行った方の中で、本研究への診療データの使用をご希望されない場合については、下記までご連絡頂きますようお願い申し上げます。ご連絡頂いた方に関わる研究結果を破棄いたします。その場合でも、今後の治療や診察において不利益を被ることは一切ございません。ただし、ご連絡いただいた時点で既に、研究結果が公表されている場合など、解析データから完全に削除できないことがございますので、予めご了承ください。

7.お問い合わせ先

本研究に関するご質問や、情報の利用を拒否される場合は、以下までご連絡ください。

- ・住所：〒062-0931 札幌市豊平区平岸1条12丁目1番25号
- ・担当施設：社会医療法人 柏葉会 札幌柏葉会病院
- ・電話番号：011-876-9100（代表）
- ・研究代表者：手術室 看護師 上村 有希